西海国立公園

九十九島八景

kujukushima　Hakkei

佐世保に点在する8つの展望台

佐世保湾外から北へ、平戸までの約25kmの海域には、複雑に入り組んだリアス海岸と208の島々が織りなす美しい自然景観が広がっています。佐世保市内に点在する8つの展望所「九十九島八景」から、それぞれの九十九島を味わってみてください。

九十九島湾が「世界で最も美しい湾クラブ」へ加盟！

2018年4月、九十九島は、西海市ふたい真珠や宮津湾周辺、景観保全全国協議会に属する牡蠣を打ち続けて50年以上世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定された、豊富な自然、文化、歴史を持つ九十九島は、市民、観光客に親しまれている景勝地です。

■石原岳森林公園

明治時代、佐世保軍港の防備のため設置された石原岳堡塁跡を整備した公園。当時の佇まいを残す雰囲気たっぷりの要塞跡は、歴史好きのみならず子ども興奮すること間違いなし。散策路や吹事場も整備され、キャンプも楽しめます。【西海市】

■尻久砂里海浜公園

手付かずの自然が残るプライベートビーチのような雰囲気の海浜公園。名前の由来は「あまりの美しさにお尻が腐るほど眺めていた」ことにあるそう。海遊びや釣りのスポットとしてはもちろん、併設されたキャンプ場でのアウトドアも人気。【西海市】

佐世保 西海の おすすめ

佐世保バーガー

佐世保C＆Bバーガーズ
「佐世保バーガー」の歴史は昭和25年頃、米海軍基地から直接レシピを聞き作り始めたのがはじまり。今では、地元のソウルフードとして受け継がれています。

長崎胡麻とうふ
「長崎胡麻とうふ」は、胡麻を粗割して使用するため素色が一般的。胡麻の香ばしさが風味よく、天然長崎の村生生かし砂糖を用いて甘みがあるのが特徴です。保存料・着色料は一切使用していません。

レモンステーキ
佐世保バーガー同様に、アメリカ海軍の影響で流行した「ステーキ」を日本人の口にあうようにアレンジして生まれた佐世保発祥のグルメ。食べやすい薄切り肉を鉄板の上に置き、焼き色がる直前にレモン風味の醤油ベースソースをかけていただきます。レモン果汁たっぷりの爽やかな味わいが特徴！

九十九島かき
入り組んだ海岸線に沿る山々、洋との間からら送られる久地の養分をたっぷり吸収。やや小さめの殻いっぱいに身が詰まり、食感もぷりっぷりで味が濃厚です。

長崎ハーブさば
エサに四種のハーブを配合し、青魚特有の身はがみがなくやわらかく甘みがあります。

さいかい丼フェア
西海市の海の幸「山の幸をひとつの丼にぎゅっとつめこんだオリジナル丼を提供する食のイベント。参加店舗によって様々な丼が味わえます。毎年9月〜11月上旬に開催。

イセエビ
西海市瀬戸町で獲れるイセエビは、1kgを超える横綱級の大物ばかり!五島灘の荒波にまれて育つため、身が引き締まり、ぷりぷりの食感と濃厚な甘みが特徴です。

■古川(降神)岳遊歩道、展望所

佐々町を代表するパワースポットです。古くから神が宿りる山として崇められ、平安時代には頂上に神殿が設けられ「山導大明神」として長い間信仰されてきた歴史もあります。森林浴を楽しみながら遊歩道を歩くと10体の観音像や菩薩像が出現してくれ、全ての像を参拝すると願いが叶うとか。展望所からは北九十九島を眺望することもできます。【佐々町】

■長崎県一のしだれ桜群

皿山公園から更に奥へ進んだ山間にある真竹谷広場には、九州でも珍しい11品種60本のしだれ桜が植栽されています。見頃を迎える3月下旬から4月上旬には、まつりも開催され、県内外からくさんの方が訪れます。【佐々町】

■医玉山 東光寺

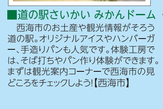
室町時代(1436年)に創建された、数々の伝説が眠るお寺です。本尊とされる「東方薬師瑠璃光如来」は、創主・松浦弘定が奇進したもので、美しく金塗りの木彫り座像です。豊臣秀吉が朝鮮へ出兵した際に、本尊如来が突然ムとしてお浦鎮信の陣中に祀られ、七年にわたる長い戦いに勝利。薬師如来は再び返礼奉安され、奇跡的に今日まで保存されています。事前に予約をすれば、座禅体験ができます。【佐々町】

■大釜海水浴場

打ち寄せる波によって丸々くく削られた波状岩など、珍しい地層の岸壁が残られる自然のままの海水浴場です。夏には絶景色情報にも指定されている市の「カノコユリが美しく咲きます。遠浅で波が静かなので子ども連れにおすすめ。【西海市】

■長崎バイオパーク

30万㎡の敷地内に、ラマやカバ、カピバラ、リスザルなどが自然に近い環境で自由に暮らしており、その動物たちと直接ふれあうことができます。亜熱帯の気候を再現したフラワードームや巨大熱帯魚などもあり、人気の動植物園です。【西海市】



■道の駅さいかい みかんドーム

西海市のお土産や観光情報がそろう道の駅。オリジナルアイスやハンバーガー、手造りパンも人気です。体験工房では、そば打ちやパン作り体験ができます。まずは観光案内コーナーで西海市の見どころをチェックしよう【西海市】

■七ツ釜鍾乳洞

約3000万年前に海底から隆起してできたとされる、国指定天然記念物の鍾乳洞です。全長1500m以上の洞穴内の平均気温は通年15℃前後、材質や生成年代の新しさは世界的にも珍しく、自然の神秘を感じる空間です。【西海市】

■音浴博物館

廃校を利用した"音"の博物館です。約16万枚ものレコードが所蔵され、100年以上前のエジソン式手回し蓄音機や"世界遺産級"ともいわれるスピーカーで実際にレコードを聴くことができます。アナログの音にタイムトリップ気分を味わって。【西海市】

■お魚バス停

崎戸町内4箇所に設置されている お魚バス停。西海市特産のアジカブやタイをかたどったユニークな見た目が話題を呼び、改めて注目を浴びています。SNS映えするスポットとして、撮影に訪れる人々も！【西海市】

■大島大橋公園

真っ青な空と海に、白く優美なシルエットがよく映える大島大橋。橋の全景を一望できる公園内には、観光案内所やレストハウスがあり、橋を眺めながら食事が楽しめます。春には梅や桜が咲き、お花見スポットとしてもオススメ。【西海市】

■四本堂公園

大村湾に面した丘に立地する公園。桜や紫陽花、コスモスなど季節の花々が咲き誇り、夏にはキャンプやバーベキュー客でにぎわいます。アスレチックや磯遊びの浜、大村湾海域を一望できる展望場など、見どころ満載のスポットです。【西海市】

■伊佐ノ浦公園

アウトドア派に人気の自然体感型・水辺のリゾート。コテージやバンガロー、キャンプ場を整備しており、ボート遊びに釣り、サイクリングやクラフト体 験 が 楽しめます。春には、1,500本の桜が一帯をピンクに染めます。【西海市】

■西海橋

1955年に西海市と佐世保市を結ぶ橋として急流の伊ノ浦瀬戸に架けられたアーチ式の橋で、2018年に国登録有形文化財(建造物)に登録されました。2006年には新西海橋が架橋、西海橋の見どころは、なんといっても日本三大急潮のひとつに数えられる"うず潮"で、春にはうず潮と満開の桜を一緒に楽しむことができます。【西海市】

■横瀬浦公園

日本初のキリシタン水名・大村純忠が開港し、ポルトガル人宣教師ルイス・フロイス上陸の地ともされる横瀬浦にある公園。展望台からは、かつて南蛮船の目印とされた白い十字架の建つ「八ノ子島」や港町の風景が楽しめます。【西海市】

■つがね落としの滝

小さなトンネルの先にある清流の滝。滝壁がないため、流れ落ちた水が平滑の上に落ち、ダイナミックなしぶきを上げます。「つがね」とは「モクズガニ」のことで、水ともにつがねが滝を落ちることが由来とされています。【西海市】

西海市観光や物産のお問合せは“西海市観光協会へ”

●おもてなしステーション オランダ村事務所
長崎県西海市西彼町喰場郷1686-1
TEL:0959-37-5833 FAX:0959-27-1733

●道の駅さいかい みかんドーム
長崎県西海市西海町木場郷496-1
TEL:0959-37-4933 FAX:0959-37-4934

●大島崎戸観光案内所
長崎県西海市大島町寺島1367-19
TEL:0959-34-2208

●本部・七ツ釜鍾乳洞事務所
長崎県西海市西海町中浦北郷2541-1
TEL:0959-33-2303 FAX:0959-33-2306

No.10

■河津桜とシロウオ

2月下旬頃から早咲きの260本の「河津桜」が佐々川河畔の桜づつみを彩ります。また、その時期には佐々川のシロウオ漁が最盛期となり、桜花狂鳥を中、昔ながらのシロウオ漁の見学や体験ができます。【佐々町】

佐世保中心部拡大図
別記
1:23,000
0 0.5km 1km
①させぼ五番街
②させぼパレスホテル
③サンクエストホテル佐世保
④セントラルホテル佐世保
⑤させぼ ワシントンホテル
⑥させぼC&Bバーガーズ
⑦させぼC&Bガレージ・ボディ
⑧ハウステンボス
⑨海上自衛隊佐世保史料館(セイルタワー)
⑩カトリック三浦町教会
⑪させぼ五番街
⑫させぼ競輪場
⑬西九州自動車道(佐世保道路)
させぼ競輪
させぼパールシーリゾート
佐世保駅
佐世保港
佐世保中央IC
佐世保大塔IC
佐世保みなとIC
佐世保川内IC
三川内
三川内焼美術館
三川内焼伝統産業会館
させぼ陶芸村
させぼ焼物観光会館
させぼ陶芸館
させぼ焼物観光会館
させぼ五番街
させぼ陶芸館
させぼ焼物観光会館
させぼ陶芸館
させぼ焼物観光会館
させぼ陶芸館
させぼ焼物観光会館